



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社インターネットイニティー 上場取引所 東
コード番号 6545 URL <https://iif.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 別宮圭一
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 星野健治 (TEL) 03-6897-4777
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,435	13.2	385	13.9	432	24.2	259	26.3
2025年3月期第3四半期	3,917	5.2	338	95.3	347	65.1	205	77.5

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 259百万円(26.3%) 2025年3月期第3四半期 205百万円(77.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	49.09	48.20
2025年3月期第3四半期	38.67	37.68

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	4,507	1,716	38.1
2025年3月期	4,328	1,647	38.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 1,716百万円 2025年3月期 1,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
2026年3月期	—	0.00	—		
2026年3月期(予想)				18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想につきましては、本日(2026年2月13日)公表いたしました「配当方針の変更及び配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,007	16.4	530	32.4	534	30.0	310	21.6	58.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

業績予想の「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期連結累計期間における自己株式の取得及び処分による影響を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1社 (社名) セントワークス株式会社 、 除外 ー社 (社名)

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期3Q	5,427,771株	2025年3月期	5,427,771株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	148,592株	2025年3月期	615株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期3Q	5,294,896株	2025年3月期3Q	5,321,700株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

- ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 4「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料はTDnetで同日開示し、当社ホームページにも掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善、インバウンド需要の拡大等を背景に緩やかな回復基調が持続しているものの、エネルギーや原材料価格の高騰、不安定な為替相場や海外情勢、更に足元では米国における関税引き上げ等の影響により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの事業に関わる高齢社会に関連する市場におきましては、中長期的に今後も高齢化率の上昇基調が続くことから、引き続きヘルスケアサービスの需要は高まっていくものと予想されております。加えて、わが国では今後2040年代にかけて生産年齢人口の減少に伴い、医療・介護分野でも深刻な労働力不足や生産性の低下が懸念されており、これらの課題解決に向けたDXの推進やAI技術、ICT等のテクノロジーの活用に関わる分野の市場拡大が期待されております。

また、このような背景から介護業界では人材の確保や業務負担の軽減、職場環境の改善が重要な経営課題として認識されております。介護保険制度においても、将来にわたり安定的な制度として持続させるため、直近に実施された2024年の介護報酬改定では、介護職員の処遇改善や生産性向上を推進する介護事業所への加算が強化されました。

当社グループでは「健康な未来」というコーポレートスローガンのもと、「創意革新と挑戦による超高齢社会における課題解決」をミッションと位置づけ、2040年問題をはじめとするさまざまな社会課題の解決に取り組んでおります。一昨年策定した「中期経営計画」において公表した経営目標の達成に向け、具体的な取り組みを推進し持続的な成長と中期的な企業価値の向上を実現してまいります。

当第3四半期連結累計期間においては、2025年4月1日付で、主に中規模介護事業者向けソフトウェアを開発、販売しているセントワークス株式会社株式の100%取得により連結子会社としたことに伴い、上期においては同社ののれん償却費やM&A及びPMIに係る一時費用等の影響を大きく受けた一方で、下期にかけては概ね期初計画どおりに進捗しているため、売上高及び段階利益は前年同四半期比で増加いたしました。今後は、当該子会社化により2040年問題の解決に向け、同社のソフトウェアの導入を起点とした中規模介護事業者向けDXソリューション事業の推進に取り組んでまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,435,391千円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は385,085千円（前年同四半期比13.9%増）、経常利益は432,218千円（前年同四半期比24.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は259,929千円（前年同四半期比26.3%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりです。

(ヘルスケアソリューション事業)

当第3四半期連結累計期間において短時間リハビリ型通所介護サービス(デイサービス)「レコードブック」の直営店が1ヵ所、フランチャイズが5ヵ所それぞれ増加しております。また、直営店2ヵ所をフランチャイズ加盟店に譲渡した結果、直営店が22ヵ所、フランチャイズが198ヵ所となりました。

そのほか、名古屋鉄道株式会社との合弁会社である株式会社名鉄ライフサポートが愛知県を中心に展開する「名鉄レコードブック」は、当第3四半期連結会計期間末において20ヵ所となっております。

これにより、「レコードブック・ブランド」の店舗が合計で240店舗(前年同四半期末は232店舗)となりました。

これらのフランチャイズの店舗数増加に加え、高齢者に運動習慣の重要性への理解が浸透したことにより、レコードブックの既存店舗の稼働率については上昇傾向で推移しており、直営店舗一店舗当たりの売上高や加盟店からのロイヤルティ等の収入は前年同期と比べ増加いたしました。

当第3四半期連結累計期間におけるフランチャイズの新規出店に伴う加盟金等による収入は概ね前年同期並みとなりました。また、当社が設備投資を行い、フランチャイズ加盟店にレンタルをするプランから、当初契約期間5年間の満了に伴いプランを変更した店舗が増加したため、これまで当社が負担していた地代家賃・減価償却費等の原価と同額の売上高がともに減少いたしました。

この結果、レコードブック事業全体では前年同四半期と比べて売上高及び営業利益は増加いたしました。

アクティブライフ事業におきましては、連結子会社の株式会社正光技建において、利益率の改善等を目的とした社内の構造改革を実行中のため、売上高及び利益は減少しております。なお、株式会社フルケア及び株式会社カンケイ舎が営む福祉用具貸与事業は堅調に推移いたしました。

この結果、前年同四半期と比べて売上高及び営業利益は減少いたしました。

従来のWebソリューション事業につきましては、第1四半期連結会計期間より、DXソリューション事業に名称を変更しております。当該変更は名称の変更のみであり、その内容に与える影響はありません。また、第1四半期連結会計期間よりセントワークス株式会社を連結の範囲に含めており、同社の損益計算書を連結しております。

この結果、前年同四半期と比べて売上高は大きく増加し、営業利益もやや増加いたしました。

これらの結果、売上高は3,184,651千円(前年同四半期比18.4%増)、営業利益は503,386千円(前年同四半期比22.5%増)となりました。

(在宅サービス事業)

在宅サービス事業におきましては、株式会社カンケイ舎において課題となっている有資格者の採用を推進するため人事制度改革を進めた結果、一定の効果が見られ、各事業におけるサービス提供回数は回復傾向となっております。

これらの結果、売上高は1,250,740千円(前年同四半期比1.8%増)、営業利益は299,285千円(前年同四半期比5.6%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は2,937,831千円となり、前連結会計年度末に比べ368,942千円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が514,409千円減少した一方で、受取手形及び売掛金が132,900千円増加したことによるものです。

固定資産は1,569,763千円となり、前連結会計年度末に比べ547,562千円増加いたしました。その要因は、無形固定資産が442,179千円、投資その他の資産が56,209千円、有形固定資産が49,173千円それぞれ増加したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における資産合計は4,507,595千円となり、前連結会計年度末に比べ178,619千円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,086,558千円となり、前連結会計年度末に比べ120,557千円増加いたしました。その主な要因は、預り金が63,311千円、その他の流動負債が89,629千円増加した一方で、賞与引当金が51,760千円減少したことによるものです。

固定負債は704,624千円となり、前連結会計年度末に比べ11,296千円減少いたしました。その主な要因は、長期借入金が74,297千円減少した一方で、連結子会社の増加に伴い、新たに退職給付に係る負債を61,412千円計上したことによるものです。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,791,183千円となり、前連結会計年度末に比べ109,260千円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は1,716,412千円となり、前連結会計年度末に比べ69,358千円増加いたしました。その主な要因は利益剰余金が162,869千円増加した一方で、自己株式の取得等により自己株式が93,521千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2025年5月15日付「2025年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。業績予想値は、現在入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

当期の期末配当予想につきましては、1株当たり15円を予定しておりましたが3円増配の18円とさせていただきます。詳細につきましては、本日（2026年2月13日）公表いたしました「配当方針の変更及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。なお、剰余金の配当につきましては、2026年6月下旬開催予定の当社第22期定時株主総会の承認を経て正式に決定する予定であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,299,844	1,785,434
受取手形及び売掛金	886,208	1,019,108
貯蔵品	12,301	14,008
その他	112,730	141,739
貸倒引当金	△4,309	△22,458
流動資産合計	3,306,774	2,937,831
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	200,213	211,222
その他（純額）	50,039	88,203
有形固定資産合計	250,252	299,426
無形固定資産		
のれん	249,030	499,028
その他	186,438	378,620
無形固定資産合計	435,469	877,649
投資その他の資産		
差入保証金	150,889	155,797
繰延税金資産	172,963	223,259
その他	13,923	13,642
貸倒引当金	△1,297	△11
投資その他の資産合計	336,479	392,688
固定資産合計	1,022,201	1,569,763
資産合計	4,328,976	4,507,595
負債の部		
流動負債		
買掛金	75,317	82,112
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	113,388	110,016
未払法人税等	84,054	108,906
預り金	505,124	568,435
賞与引当金	100,358	48,597
役員賞与引当金	8,897	—
その他	328,860	418,490
流動負債合計	1,966,001	2,086,558
固定負債		
長期借入金	604,801	530,504
資産除去債務	67,382	67,100
退職給付に係る負債	—	61,412
その他	43,737	45,607
固定負債合計	715,921	704,624
負債合計	2,681,922	2,791,183

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	252,302	252,302
資本剰余金	237,302	237,302
利益剰余金	1,157,708	1,320,577
自己株式	△276	△93,797
株主資本合計	1,647,037	1,716,385
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	26
その他の包括利益累計額合計	16	26
純資産合計	1,647,054	1,716,412
負債純資産合計	4,328,976	4,507,595

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	3,917,448	4,435,391
売上原価	2,350,143	2,610,701
売上総利益	1,567,305	1,824,690
販売費及び一般管理費	1,229,258	1,439,604
営業利益	338,046	385,085
営業外収益		
事業譲渡益	11,983	28,760
助成金収入	12,460	39,981
その他	2,660	3,189
営業外収益合計	27,105	71,931
営業外費用		
支払利息	16,174	22,707
その他	1,091	2,091
営業外費用合計	17,266	24,798
経常利益	347,885	432,218
特別利益		
受取立退料	40,000	—
特別利益合計	40,000	—
特別損失		
減損損失	42,770	—
特別損失合計	42,770	—
税金等調整前四半期純利益	345,114	432,218
法人税等	139,299	172,289
四半期純利益	205,815	259,929
親会社株主に帰属する四半期純利益	205,815	259,929

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	205,815	259,929
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9	9
その他の包括利益合計	9	9
四半期包括利益	205,824	259,938
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	205,824	259,938

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
税金費用の計算	税金費用については、当第3四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2024年6月25日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	26,520	5.00	2024年3月31日	2024年6月26日

2. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2024年6月25日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行いました。この処分により自己株式は13,434千円(29,885株)減少しました。この結果、単元未満株式の買取りによる増加も含め、当第3四半期連結会計期間末において自己株式は42,713千円(95,015株)となりました。

当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2025年6月24日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	65,125	12.00	2025年3月31日	2025年6月25日

2. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2025年3月31日及び2025年9月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式238,200株の取得を行いました。また、2025年6月24日開催の取締役会決議に基づく譲渡制限付株式報酬としての自己株式処分及び新株予約権行使に伴う割当処分を行い、これにより自己株式は58,036千円(91,968株)減少しました。この結果、譲渡制限解除に伴う無償取得による増加も含め、当第3四半期連結累計期間において自己株式が93,521千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において自己株式が93,797千円となっております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,689,360	1,228,088	3,917,448	—	3,917,448
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	2,689,360	1,228,088	3,917,448	—	3,917,448
セグメント利益	410,779	283,424	694,203	△356,156	338,046

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△356,156千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケアソリューション事業」セグメントにおいて、株式会社正光技建に関連するのれんについて将来の事業計画を見直した結果、当初計画していた収益が見込めなくなったと判断したため、当第3四半期連結累計期間においてのれんの減損損失を特別損失に42,770千円計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ヘルスケアソリューション事業	在宅サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,184,651	1,250,740	4,435,391	—	4,435,391
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,184,651	1,250,740	4,435,391	—	4,435,391
セグメント利益	503,386	299,285	802,672	△417,586	385,085

(注) 1. セグメント利益の「調整額」△417,586千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「ヘルスケアソリューション事業」セグメントにおいて、第1四半期連結会計期間にセントワークス株式会社の全株式を取得したことにより、のれんが発生しております。当該事象によるのれんの発生額は、当第3四半期連結累計期間においては299,103千円であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	79,622千円	142,634千円
のれんの償却額	34,550千円	60,061千円